

貝ヶ森社協だより

第 48 号

令和7年春発行

貝ヶ森地区社会福祉協議会

～誰もが住みよい貝ヶ森を目指して～

日頃より、地域福祉の推進につきまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

年末から年始にかけて、大雪・寒波、インフルエンザ・新型コロナ・マイコプラズマ肺炎の感染など心配されました。ご自愛の上お過ごしください。

地区社協としては、町内会、民生委員・児童委員、福祉委員が連携・協力して小地域福祉ネットワーク活動の「見守り」・「生活支援」・「サロン活動」をしております。特に「サロン活動」については、特養せんだんの里及び貝ヶ森市民センターの協力を得て【まちの音楽カフェ（認知症カフェ）】を年10回、【交流サロン】は年6回実施しています。

地域では最近、多世代交流を目的とした「プレパーク貝ヶ森」を地域住民・大学生により中央公園でおこなっており、貝ヶ森生協のメンバー集会室では大学生による「こども食堂ぽぽ」のボランティア活動が行われております。

「サロン活動」「ボランティア活動」については、町内回覧などをおして案内しますので機会をみて是非参加をして頂ければと思います。

貝ヶ森地域の様々な活動を通して出会い、つながりをたいせつにし“私たちの地域のこれから”をみんなで考えてつくっていきましょう。



1. 令和6年度下半期の主な活動状況

○友愛訪問 お一人暮らし・・・11月・1月（新春友愛訪問）・3月

高齢夫婦世帯・・・10月・1月（新春友愛訪問）・3月

○歳末寝たきり世帯へのお見舞い・・・今年度は対象世帯がありませんでした。

○認知症カフェ（まちの音楽カフェ）・・・10月23日・11月26日・12月17日
2月19日・3月28日

○研修会

第1回 令和6年11月19日 第2回 令和7年2月20日

○交流サロン

第5回 交流サロン「チェロコンサート」令和6年10月8日

第6回 交流サロン「地域のコンセキ探訪」 令和6年 11月28日

○町内会のサロン

東町内会 令和6年10月23日 南町内会 令和6年11月17日

西町内会 令和6年11月 8日 萩町内会 令和7年 2月 8日

○青葉区児童福祉協議会連絡協議会活動

美化活動（貝ヶ森団地のごみ拾いを実施） 令和6年10月10日

貝ヶ森シンボル花壇の会に作業協力 令和6年11月14日

○その他会議

国見小学校学校運営協議会・国見地域包括支援センター圏域会議
市民センター地域懇話会・ゆるっとつながろう会



研修会の報告

令和6年度 第1回研修会

令和6年11月19日

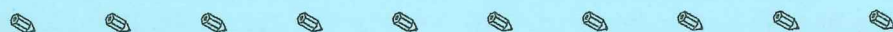
「高齢者支援の窓口」中核を担う「地域包括支援センター」

町内会長及び福祉委員を対象として、国見地域包括支援センター所長齋藤洋人氏より具体的な仕事内容(①～④)についてお話を頂きました。

- ① 高齢者の方の福祉・介護・医療に関する必要なサービスや制度の紹介
- ② 青年後見制度のサポートや虐待防止への取り組み
- ③ 介護・フレイル予防のためのケアマネジメント
- ④ 地域のネットワークづくり(ケアマネ支援・ケア会議)



センターでは、主任ケアマネージャー・社会福祉士・保健師など各分野の専門職が在籍し、互いに連携を図りながら総合的に高齢者を支えています。利用者の相談に乗り、必要なサービスの説明や事業所の紹介など橋渡しの役割を担っています。健康や認知症のこと、介護保険のこと、お金や財産管理など「不安」がありましたら一人で抱え込まないで「国見地域包括支援センター」へご相談下さい。【TEL 727-8923 八幡4丁目2-1 早見ビル1階】



令和6年度 第2回研修会

令和7年 2月20日

「高齢者の金銭管理支援について」

国見地域包括支援センター所長 齋藤洋人氏を講師として、福祉委員を対象とした研修会を行いました。高齢者のお金の管理は、難しい問題ですが、どのように対処すればいいのでしょうか。様々な制度について紹介して頂きました。



① 金銭管理は難しい

- ・一人暮らしや身寄りのない方で、認知症などにより判断力が低下している方の支援でいちばん行き詰まるのが金銭管理です。通帳やカードをどこにしまったか分からなくなり、必要なお金がおろせない。
- ・判断能力が低下した高齢者の金銭管理を行う家族が殆どだったが、その親族がいないケースが増えている。

② 金銭管理の種類

- ・社会福祉法に定められている公的な事業としては、仙台市社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業(通称まもり一歩仙台TEL 022-217-1610)で相談(無料)に応じている。ここは仙台市在住で、認知症・知的障害・精神障害がある等で判断能力が十分とれない方が、地域で福祉サービスを適切に利用し自立した生活を送れるようお手伝いしている。
- ・民法に定められている公的な制度として、成年後見制度(法定後見人制度):大部分が(司法書士・弁護士・社会福祉士)が担っている。任意後見人制度:判断能力があるうちあらかじめ備える制度(任意後見人は本人が任せたい人であれば誰でも可能)がある。

- ・民間の金銭管理サービスとしては、民間事業者（NPO 法人・社団法人）、弁護士、司法書士等、本人との三者契約とする場合が多く支援を受ける。

③ 金銭管理支援の課題

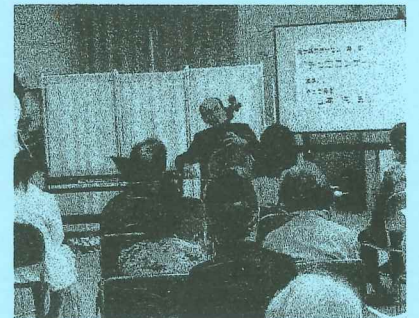
- ・“即効性” “利便性” “安全性” が高齢者の金銭管理支援の課題として挙げられ、今のところ『〇〇が最適です』と言い切れるものはない。
- ・その方その方の状況に応じてケースバイケースに対応していることが殆どです。
《利用者が何にお金をかけてどのような生活を実現したいか？安心して自立した生活を続けられるよう支援していかなければと実感しました》



交流サロンの報告

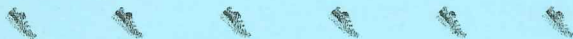
「チェロコンサート」 令和6年10月8日

貝ヶ森中央公園に臨時で建てられたプレハブの貝ヶ森児童館でチェロコンサートが開催されました。チェロの演奏者は40年間仙台フィルハーモニー管弦楽団で活躍された山本純さんでした。全部で9曲の素晴らしい演奏に聞きほれました。曲名はエルガーの愛の挨拶やシューベルトのアヴェマリアなど知っている曲もあってすっかり引き込まれました。アンコールでのバッハのG線上アリアは特に素晴らしかったです。児童館の狭い所でのコンサートは音が近くて感動が倍増すると思いました。



「地域のコンセキ発掘」 令和6年11月28日

今年度のまち歩きも「せんだいコンセキ発掘塾」の板垣博先生を講師として行われました。貝ヶ森市民センターを出発して北山市民センターまでの行程でした。貝ヶ森の「二の坂」、「一の坂」を下り国見コミュニティセンター前の「疱瘡神」のいわれを聞きました。この辺りには「へくり沢散歩道案内板」があり、貝ヶ森団地ができる前の昔の様子を知ることができました。ここから子平町郵便局の先を右に曲がり、伊勢堂山についての話を聞きながら林子平の祀られている龍雲院まで歩きました。最後は大願寺にある伊達政宗の灰塚をみました。江戸時代の古地図を見ながら、先生の軽妙なお話を聞き、昔のまちに思いをはせる楽しいまち歩きになりました。



各町内会ふれあいサロンの報告

東町内会ふれあいサロン 令和6年10月23日

10月23日に東町内会の集いが開催されました。講師は清月記の吉田さんで「“生前整理”～はじめの一步～」と題してお話していただきました。生前整理は最後の一秒まで自分らしく生きることが出来るように、物・心・情報の整理をすることで、“エンディングノート”を利用して情報の整理をすると良いとの事で“エンディングノート”を一人一人頂き注意点なども教えて頂きました。ノートはよかったという声もあり、それぞれの方の“はじめの一步”になったら良かったです。



西町内会ニシカの会

令和6年11月8日

にしかの会では「どんな時に救急車を呼ぶべきか、またの呼び方について」と題してふれあいサロンを国見コミュニティセンターで実施しました。

参加者は12名でした。講師は青葉消防署救急係救急救命士の阿部氏で東日本大震災時、高砂地区隊長とし津波被害の救命にあたった経験豊富な方でした。現状として10年前より高齢化により件数は倍増している。呼ぶべきか迷ったら#7119, 一人で病院へ行けないとき、急病の時は119にかけ、応答者の質問には慌てずゆっくりハッキリ回答して欲しいとの事。会場が遠い故か参加者が少なく勿体なく感じました。



南町内会ふれあいサロン

令和6年11月17日

昨年11月17日に翔裕園にお伺いして「インボディ測定」というふれあいサロンを開きました。まずは軽い体操で体をほぐし、体力測定です。グッと力を込めて握力を測り、片足でどれだけ立っていただけるかのテストに皆さん頑張りました。お茶を頂きながらお喋りも弾みます。そして「インボディ」という体成分分析装置で体の筋肉量・脂肪・水分量などの測定をしました。結果はすぐにわかり、職員の方が一人一人にアドバイスをしてくださいました。皆さんから「現在の体力・数値が分って大変勉強になりました。これからは健康に気をつけて頑張っていきたいです」と嬉しい感想を頂きました。楽しく交流しながら自分の体を見つめ直す貴重な一日でした。

萩町内会ふれあいサロン

令和7年2月8日

2月8日(土)前日からの雪が残り、足元が悪い中参加者23名が国見コミュニティセンターに集まり、国見地域包括支援センター所長の齋藤洋人氏に「地域包括支援センターについて」のお話を伺いました。地域包括支援センターの主な業務は、高齢者(65歳以上)の方の福祉・介護・医療に関する相談対応・要支援認定を受けている方の介護サービス等の調整・介護予防教室の開催・地域のネットワークづくり等です。「国見地域包括支援センター」は八幡生協の近くにあり、高齢者のよろず相談の窓口です。生活の中での不安や困りごとがあったら、お買い物のついでに気軽に立ち寄って下さい。来るのが難しい時にはセンターに電話(022-727-8923)してくれば、日程調整してご自宅に訪問することもできると教えていただきました。



新春友愛訪問

令和7年 1月17日

穏やかな新年を迎え、今年初めての友愛訪問をし、お一人暮らしと高齢夫婦の220世帯にチューリップとスイトピーの小さな花束をお届けしました。花束は春を迎える明るい色合いのお花を選んで頂いています。お花を見る皆さんととても喜んで下さって優しい笑顔で出迎えてくださいました。

